

くくりわなの設置

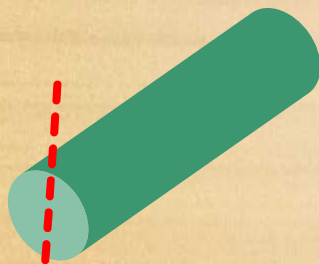
【用意するもの】

1. 長い棒（1.2m程度）1本
2. 短い棒（40cm程度）1本
3. 剪定ハサミ
4. くくりわな1本
（棒は枝でもいい）



【設置方法】

1. 長い枝を地面に刺す（固定）。固定していない先は地面から20cm程度浮くぐらいにする。
2. 短い棒の先を斜めに切り、先を尖らせる。



3. 尖らせた先端を手前にして、切り込みを入れる。



4. 短い棒の先端が、地面から30cm程度になるように地面に刺して固定する。

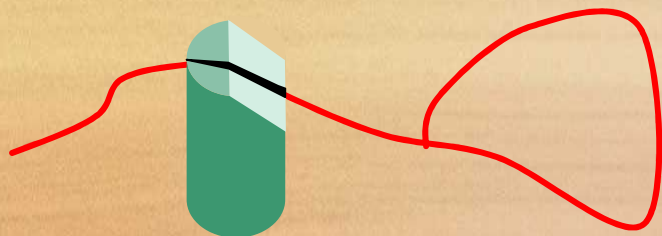


5. 長い棒の先にくくりわなの元側（輪になっていない方）をしっかりとくくりつける。

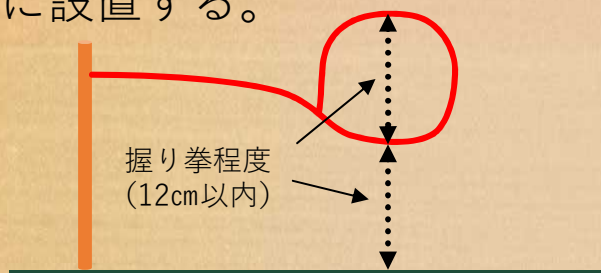
注：近くに雑木や根株等があればそれを利用してよい。



6. 短い棒の切れ込みにくくりわなを挟む。



7. 輪の高さは握り拳程度。輪の大きさはも握り拳程度に設置する。



8. 輪の横（短い棒の反対側）に短い枝を刺す。



9. 短い棒と短い枝の近くに枝条（枝や葉っぱなど）を置いて、輪の方に向かうようにする（通り道を作る）。



完成。

枝条を置く

【設置にあつての留意点】

① 設置場所

獣道（ノウサギやタヌキ等が通る道）を探し、食痕跡や糞があれば獣道に設置する。⇒すごく難しい

② 関係法令の遵守

ノウサギの許可捕獲に当たっては、鳥獣の捕獲及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、その他関係規程等を遵守すること。

わなの構造については、鳥獣の捕獲及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第4条に基づき、高知県の鳥獣捕獲管理事業計画で定められており、「原則として、輪の直径が12cm以内であり、締付け防止金具を装着したものとす」とされている。



ヒノキ苗木の食痕跡

〈特徴〉

- ・ 幹が鋭利に切れている
- ・ 枝が周囲に落ちている



ノウサギの糞